

## 「人工股関節全置換術における関節周囲創部浸潤麻酔併用の術後鎮痛効果に関する後ろ向き研究」

ご協力をお願い

○2015年11月から2019年11月に当院で人工股関節全置換術を受けられた患者様へ

### 【研究背景】

人工股関節全置換術は侵襲度が大きく、術後の痛みが強いことが知られています。有効な鎮痛法の提供は、離床の観点から術後早期のリハビリ開始に寄与し周術期における筋力低下など廃用の予防に貢献します。当院においては、末梢神経ブロックを使用した鎮痛管理を行ってまいりましたが、より良い鎮痛方法の提供を目的に、近年報告がある関節周囲創部浸潤麻酔を2018年11月より併用しております。関節周囲創部浸潤麻酔を加えた場合の有効性を明らかにすることは、術後の経過や満足度の向上に貢献すると考えられています。

### 【対象】

2015年11月から2019年に当院で人工股関節全置換術を施行した患者様の診療データが対象となります。

### 【方法】

手術記録、麻酔方法、術後1日目、2日目の痛みの程度(NRS)、術後に使用した補助鎮痛薬使用回数、診療記録、看護記録、リハビリ記録等を参照させていただきます。集計したデータは、従来法によって鎮痛管理を行った群、関節周囲創部浸潤麻酔を追加した2群に分け、統計解析を行います。

### 【個人情報保護に関する配慮】

実際の臨床にあたっては、臨床使用が認められた薬剤、器具のみを使用しております。結果については今後の鎮痛方法を改善するための情報とし、個人を特定し得る情報はすべて異なる識別番号へ置き換えます。学術集会での発表や学術誌への投稿にあたっては、研究対象となった患者様が特定されることはありません。本研究に情報を利用することをご了承いただけない場合は、その方の情報は削除し使用することはありません。いつでも下記ご連絡先までお申し出ください。

### 連絡先

研究全体の問い合わせ先（研究代表者）

国立病院機構浜田医療センター 麻酔科 松本慶太

島根県浜田市浅井町777番地12 TEL：0855-25-0505（代表）